



# “Pure CS” Project Photo Letter



No. 9, March 2019

雨期のCS生産はCSタグも配布され漸くは一段落です。2019年度雨期作も5月には準備が始まります。今月のプロジェクトは来年度活動計画の策定協議を実施（研修計画会議、PIC会議）。C/Pとともに課題を共有し、解決方法を協議しながら計画策定しました。準備を含めて時間と手間はかかりますが、ひとつひとつのプロセスをC/Pと議論し、ともに試行錯誤していくことを重視しながら協力を進めています。

**2019年度研修計画会議（ワークショップ）**：2019年度の普及員・種子農場職員・ラボ職員向け研修の計画会議をエーヤワディー地域（パテイン）、シュエボー地区（シュエボー）にて普及所長、種子担当者、農場長、種子ラボ長を招集して開催し、2018年度のCS生産と研修についてレビューを行うとともに2019年度に向けた研修フレームワークの見直しを行いました。（写真：左から、シュエボー地区会議でのザガイン地域事務所長、エーヤワディー地域会議と参加者写真）



**DAR種子生産モニタリング/CSビジネスミーティング開催**：DAR局長と種子生産で最も重要なBSの増殖手法について先行プロジェクトで導入した系統法に依ることを確認しました。また、シュエボー県でCSの買い手（精米業者）と売り手（CS農家）を招集してマッチメイキングを試みるビジネスミーティングを開催しました。（写真：左から、DARイエジン種子増殖圃で局長の説明を受ける藤井総括、シュエボー県ビジネスミーティング）



**第3回プロジェクト実施調整（PIC）会議開催**：NPTにてU Hla Myint Aung（プロジェクトディレクター）を議長とするPIC会議を開催。2018年度後半の活動レビュー、2019年度前半の活動計画、PDM修正案とCS生産・流通促進に向けた課題と解決策について議論がなされました。PICに先立ちNPTで事前協議も行いました（写真：左から、議長オープニングスピーチ、協議シーン、事前協議シーン）



日差しが益々強くなり、気温も40度を超える日があります。灌漑水の無い田畑はひび割れてきました。4月は水掛祭りとミャンマーの新年です。新たにプロジェクトのFacebookを開設しました（URL：<https://www.facebook.com/jica.pure.cs.project/>）。HP（<https://www.jica.go.jp/project/myanmar/029/index.html>）と併せてお気軽にご覧ください。（編集委）